

4

みゆき こう えん
幸公園

所在地・・・愛知県豊橋市佐藤町字池下49ほか

面積・・・128,000㎡

実施主体・・・豊橋市都市計画部公園緑地課

問合せ先・・・【住所】愛知県豊橋市今橋町1番地
【TEL】0532-51-2655

幸公園の全景

対象地の概要・・・水のある公園として親しまれ、子供たちが憩い、水鳥がたわむれるのどかな公園で、長三池をメインとしている。長三池は幸公園として整備され、池には橋が架かり周囲には遊歩道が整備されている。池から流れ出る長三川と池の間にある湿地帯は、ナガバノイシモチソウ自生地として市が天然記念物に指定し、フェンスで囲い保護している。

事業への取組みのきっかけ

総合公園として位置づけられ、整備が計画されていたが、長三池(37,000㎡)やその周囲には、貴重な自然が残されており、特にナガバノイシモチソウは平成5年(1993年)に市天然記念物に指定したため、これらを保護しつつ、水辺を活かした公園整備を行った。

取組み概要

取組み実施期間・・・昭和54年～平成12年度(1979年～2000年度)

①「貴重種の保全」の手法

Step1:ナガバノイシモチソウ自生地を市天然記念物に指定

平成5年(1993年)に、市は、ナガバノイシモチソウ自生地を市天然記念物として指定した。

Step2:ナガバノイシモチソウ自生地の保護の柵を整備

ナガバノイシモチソウ自生地を柵で囲み保護区域とし、公園整備はそれ以外の部分で実施した。

Step3:ナガバノイシモチソウの保全のための草刈を実施

保護区域内のナガバノイシモチソウは、専門家の指導の下、市民活動団体による、ナガバノイシモチソウ保全のための草刈を実施している。

② 取組み時の協働者との関わり ⇒市民活動団体

市天然記念物に指定後、保護区域内のナガバノイシモチソウは、専門家の指導の下、市が市民活動団体と協力して草刈などの維持管理を実施している。なお、公園全体は、業者委託により年4回除草を実施している。

③ 取組み時の留意点

—

事業効果

- 保護区域内は、ナガバノイシモチソウが保全され、年2回観察会を実施している。
- 市民寄付により植樹が実施される。
- 近隣の小学校による清掃活動も実施されている。



ナガバノイシモチソウの観察会の様子



ナガバノイシモチソウ



ナガバノイシモチソウ自生地(保護区域内)



市民団体による保護区域内の回復作業の様子



園内風景(幸福橋)



園内風景(藤棚)



園内風景(水景施設)

備考

生物多様性の保全に配慮したその他の取組み

- 幸公園の生物多様性の保全に配慮した取組みとして、貴重種の保全のほかに、以下を実施している。
- * 鳥の餌となる実のなる木を植栽したり、鳥の生息のため、浮島やアシを残す。
 - * 池内については、全て除草するのではなく、一部のアシを残して除草を実施する。
 - * 既存樹林を保全する。

現在の課題

保護区域周辺はうっそうとしており、周辺にゴミがすてられることもある。また、日照確保のため、高木を伐採する必要があることがある。

今後の展望

保護区域は、引き続き、市民活動団体と協力して豊橋市教育委員会が維持管理を実施していく。